

[第 166 回藤樹人間学塾のご案内]

皆さま

2025 年 9 月



主 催 NPO法人高島藤樹会

- 日 時 2025 年 10 月 4 日 (土) 15時～17 時
- 場 所 高島市安曇川公民館(高島市安曇川町田中89) ☎0740-32-0003
- テーマ 「藤樹先生に学ぶ人間学」
テキスト 熊沢蕃山著・伊東多三郎現代文訳『集義和書』(中央公論社)p.241～
- 塾 長 田中 清行 (090-1026-7882)
- 懇親会 17 時 30 分～ 場所 ウエストレークホテル可以登楼
(JR 安曇川駅西) ☎0740-32-3131
- 参加費 5,000 円★参加いただける方は、9/27 迄に田中までご連絡ください。

2025 年 9 月 13 日(土)、安曇川公民館で第 165 回藤樹人間学塾を開きました。今回は京都から1名、大津市から2名を入れて 9 名の参加でした。

■ テキスト

『中江藤樹・熊沢蕃山』(中公バックス日本の名著)

■ テキストの見出し

「集義和書」巻八 義論の一 聖学の心法、朱子の窮理と王子の良知、孝経の大綱を問う、資料も。

■ 配布資料

(1)「まなざし 484 号」、(2)横田南嶺「随处で主となる」(致知)、(3)田口佳史「孝子の深愛有る者は必ず和気有り」(致知)、(4)インド・中国「人生を4つに区分する思想」について、(5)五木寛之「悪人として生き延びた(日経新聞)」、(6)五木寛之『遊行期』(要約)、(7)帯津良一『ときめいて大往生』(要約)、(8)NHK こころの時代「闘うガンディー」(要約)、(9)同第5回 非暴力と寛容

■ 今日のポイント

- ・ 聖学の心法…一念のきざすところを自覚して道から離れないようにすること。気づかずに道から離れる過ちをしたときは直ちに改めること。
- ・ 朱子の窮理と王子の良知…朱子の説「理気二元論」「性即理」「窮理」と王陽明の説「心即理」「良知」「知行合一」を対比して説明した。蕃山は時・所・位に応じて二者を使い分けている。
- ・ 孝経の大綱を問う…蕃山の主張は、孝の本質は天命に順うこと、人倫の道を正すこと。孝は人倫と政治を貫く根本の道であり、個人から天下へと広がる普遍的な秩序原理である。
- ・ 五木寛之『遊行期』…75歳以降の人生の最終段階で死を見据えた生き方が求められる。その中で、精神的な自由と孤独を受け入れる、日常の中の豊かさ(精神的な習慣、身体的な習慣、社会的・日常的習慣、心の持ち方)を見出す、死後の世界と宗教について考える。

■ フリートークング

- ・ 「蕃山は朱子学と陽明学を時・処・位に応じて適応しており流石だと思った」
- ・ 「『集義和書』はとても難しい。なじみがなくて読むのも大変ですが、それもよい時間となった」
- ・ 「朝ドラ「あんぱん」の主題である「逆転しない正義」が分かった」
- ・ 「蕃山が四書五経を読み込んでいるのがよく分かった。一行一語に深い味わいがある」

などの意見をいただきました。ありがとうございます。

皆で学ぶと議論が深まります。学ぶは愉し！難しいところも資料を用意して分かりやすく解説します。人間学に関心のある方はどうぞご参加ください。

